

## 令和3年度 障害者就労促進チャレンジ事業 事業報告書

令和3年度は、企業向け見学会を13回、障害者向け見学会を3回開催し、短期職場実習80件を実施することを目標とした。昨年度に引き続きコロナ禍のため、オンラインを活用する等、感染予防対策をとりながら取り組んだ。千葉労働局をはじめ、各ハローワークの協力により、法定雇用率未達成企業等への開催周知等が円滑になされたことにより、企業向け職場見学相談会の実施件数が2件少なかったものの、参加企業は見込み数を上回っており、ほぼ計画通り事業を遂行することができた。

## 1 企業等の理解促進（企業向け職場見学相談会）

## ・企業向け見学会

11圏域において開催した。オンラインを活用し、先駆的な取り組みをしている企業や今後雇用が伸びていくと思われる業種の企業等を見学し、その後相談会等を実施している。

全体で74企業28機関140名が参加し、障害者雇用の理解促進が図られたことで、新たに障害者雇用を進めたいと希望する企業も複数あった。

## 2 障害のある人等の意識改革

今年度は3圏域で開催し、計75名の障害当事者、保護者、支援者等が参加し、企業見学・企業担当者や障害当事者との意見交換・参加者間の情報交換等を行った。

この見学会を経て今まで就業は難しいだろうと考えていた障害当事者やその周りの方が、就業に目を向ける良いきっかけとなり、障害者就業の在り方について前向きに検討する機会となった。

## 3 短期職場実習

企業支援員と協力しながら、実習受け入れ企業の開拓を行い、実習の斡旋調整を行った。結果として件数116回 延べ578日の実習を行うことが出来、実習をきっかけに就職された方は73名となっている。

コロナ禍ではあったが障害者法定雇用率の引き上げなどもあり、企業側の意識の高まりを感じた。短期職場実習を通じて実際に雇用につながるケースも多くあり、事業の効果は大きかった。